

行岡鍼灸マッサージ治療院訪問記



中本真美さん ゆきおかデイ・ケアルーム2階に今年、5月6日開設した「行岡鍼灸マッサージ治療院」を訪ねました。行岡鍼灸専門学校を卒業した、若さあふれる2人の女性スタッフに迎えられ広い施設を案内して頂きました。中本真美さん、砂田順子さんのお二人は、同級生でこの治療院の開設当初から加わり、レイアウトから開設準備そして今治療を担当しています。開院に当たり「患者さまからの話を、よく聞くこと。」をモットーに勤務に励んでおられるそうです。行岡学園では、特に臨床経験の豊富な開設者が、実技指導者から指導を受けることができ非常に実力が付いたということです。大阪には、5校の鍼灸の学校がありますが、その中で「あんま・マッサージ・指圧」の資格も合わせて取ることができるのは、行岡学園を含め2校だけだそうです。

また、他校に比べると実践的指導がとても良いとのこと。現在の来院患者様は女性8：男性2の比率で、女性が圧倒的です。また行岡病院からの紹介患者様が多く、時には担当医師からの依頼で病棟へ出張にも応じることもしばしばあるそうです。

しかしスタッフが2人で外来患者様の対応に overwhelmed と予約頂いた時間に食い込み、病棟から催促の電話が入ったり、1人ではトイレにも行けず困ったこともあるとか。

平日の夜間は7時まで受け付けしています。また職員割引制度もあるのでどんどんご利用ください。まだ、外部の方々に対するアピールが行き届いていないようなので、これから宣伝にも力をいれて気軽に来院してもらるようにしたいとの抱負をお聞きました。



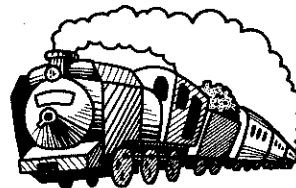
砂田順子さん

鉄道員（ポッポヤ）をみて

行岡久美子

この映画は、高齢社会に向って、私達一人一人が高齢者になった時立向かわねばいけない問題として“どう生きるか”を教えてくれた作品でした。一人の鉄道員を通して一つの仕事しか出来ないためな人間として嘆くより、鉄道員の仕事を一生かけて遂行し終えた満足感、その一生の中での良き思い出、妻との楽しかった生活、友人と過ごした日々、子供が成長した夢など、自分の中に喜びを見つめることが出来たポッポヤの幸せな一生だったと思います。又ストーリーの後半テネシーワルツが流

れる中、妻役の大竹しのぶさんから「子供が死んでも、そうして旗を振ることしか出来ないのネ」と言われ、主演でありながらも高倉健自身としての直面せざるを得なかったこの場面に、この作品の味わいがあり、今は亡き妻であった江利チエミさんをいかに愛し今尚チエミさんと共に生きておられるかがスクリーンを通して感じる事が出来ました。



クイズ？ 頭の体操

1999年も残りわずか。2000年という今世紀最後の年を迎えようとしています。この数字にちなんでクイズを一つ。これで頭の体操をしてみてください。

（問い）1999²⁰⁰⁰（つまり1999を2000回かける）の1桁目の数字はなんですか。

答えがわかった方は、氏名・連絡先・答え・その理由を明記の上、平成11年10月末までにひこばえ編集部までご応募下さい。正解者の中から抽選で3名の方に記念品を差し上げます。

（回答に理由が明記されていない場合は無効とさせていただきます）

※10月1日(金)、デイ・ケアのバザーが行われ、その際の収益金10万円の一部を、台湾地震の義援金として寄附させて頂きました。ご協力有り難うございました。紙面を借りて御礼申し上げます。

編集後記

今回は紙面編集にいろいろと工夫をこらしましたが、いかがでしたでしょうか。皆様からのご意見をお待ち致しております。ひこばえも第7号と発行から3年半が経過し、改めて多数の方々の御協力に感謝しております。

ひこばえ

—ゆきおかニュース—

行岡病院・行岡学園 広報部 大阪市北区浮田2-2-3 TEL: 6371-9921(代)

Vol.7



幸せの診断基準

理事長 行岡正雄

21世紀は「心の時代」と言われることがあります。これは科学万能主義であった20世紀に対する反省と共に、私たちが物質的な繁栄のみならず内的な幸せや豊かさを追求し始めたからかも知れません。ところが心の幸せや豊かさ、生き甲斐などが求められているにもかかわらず、それらを評価する指標が現代医学に全く存在しないことを知って私は驚かされました。例えば、心が沈んで何をする気にもならない鬱病は、Zungの自己評価法など色々な客観的・主観的な評価法がありますし、またこれとは反対の躁病に対しても診断基準が存在しております。しかしながら健康な人の心、幸せなどのまとまった診断基準はまだ存在してい

ないように思います。

心理学の分野ではマズローが心の発達段階について述べておられますが、これとて日常診療に応用できる指標とはなり難いように思われます。人は幸せや豊かさ、充実感などを求めているのにその指標がない、これでは目的地を定めずに船を漕いでいるようなものではないでしょうか？

21世紀に向かって行岡病院では、この健康な心・幸せ・充実感などの判定尺度を開発し、これを患者様に使用し、より高いQOL（生命の質）の獲得を目標にしていきたいと思っています。よろしくご指導ご鞭撻をお願い致します。

学園長就任のご挨拶

行岡保健衛生学園 学園長
行岡病院 歯科・歯科口腔外科部長 島田惣四郎

この度、理事長先生からのお言葉により平成11年4月1日付けで学園長を併任することとなりました。

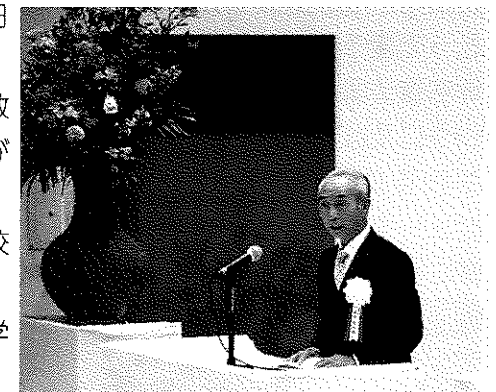
現在、学園各学科においては、厚生省の『医療関係職種の教育課程等の改善に関する検討会意見書』の方向に則した改善が行われています。それらは、教育内容の充実・単位制の導入・修業年限の変更など多岐に渡ります。その上、医療系専門学校は増加の傾向にあります。

翻って日本の人口減少と高学歴志向に伴い、現役学生の入学志願者が減少し学生獲得が困難になってきています。

しかし、その一方で、資格取得・国家資格取得に関心が高まってきております。社会人の各種専門学校への再入学などはその良い例ではないでしょうか。

本校行岡保健衛生学園は、医療系総合学科（全10科）の特長を生かし、70余年の長い歴史と伝統を守りさらに発展させる覚悟であります。

浅学非才の身ではありますが、皆様方の多大のご支援をお願いいたします。



ケアマネジャー受験汗と涙の物語

ケアマネジャーに合格された上埜先生の秘話とは・・・

▼介護保険の仕組み

平成12年4月に始まる「介護保険」、そのサービス受付がスタートしています。介護保険は、これまで家族の責任、或いは老人病院や施設に任せきりになっていた介護を、出来る限り在宅中心の場でADLを改善し、個々人の生活の自立を計ることを目的にして、ケアマネジャーがこの目的に沿った介護プログラムを、政府の取り決めた枠の中で公的・私的資源を材料として組み立てていくものです。

▼苦労した受験勉強

一体、医者にこの様なことを経験する意味がどれ程あるのか、と最初の内は私自身疑心暗鬼でケアマネジャーの受験勉強に取り掛かりました。そして、例えば“MDC-HC・アセスメント・領域”など、何でこんな七面倒な仕組みを覚えなければならぬのか、こんなのはアメリカでは入力して処理するソフトがあるに違いない、と思い始めると、その度に何度もくじけそうになりました。それでも診療の

内科副院長 上埜 帝一

合間をぬっての受験勉強の末試験を受け、さらに実習にまで行くと、曲がりなりにも医療と介護の方向性など、政府の意図する保険行政の行方が垣間見えてきました。やはり、医者としてケアマネジャーを見ることは意味があることと思えました。



地域医療連絡室が設置されました

サービス向上が目的

地域医療連絡室は、地域の医療機関との連携を行い、患者様への良質な医療サービスの提供を円滑にすることを目的とする部署です。主な業務は他の医療機関からの入院・外来診察・検査依頼の問い合わせに応じて、各科担当医師へ連絡し、その担当医からの指示を受け、返事を送ることや患者様をお待たせすること

のないように円滑な処理を行うことです。

リアルタイムの運用

入院依頼に対する担当医師への連絡業務を行うためには、病院全体の空床状況の把握を常時行うことが必要です。そのために、毎朝各病棟からの連絡により「空床状況表」を完成させ、外来各科等に報告します。そして入退院・転入・転出があれば、その都度速や

かに各病棟・外来から連絡を受け、リアルタイムでの空床状況が把握されるようになっています。

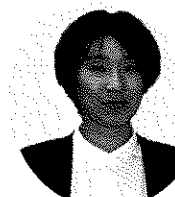
これからの課題

地域医療連絡室では、これらの業務を遂行することで、患者数の安定的な確保を図り、また同時に各医療機関や患者様に対するアピール度を増やすことで、地域医療への貢献を目指しています。(西島)

食生活雑感

食生活と成績の深～い関係

歯科衛生科 山本 洋子



近代科学の分野では様々な解明が進んでいる。特に今まで『神の領域』といわれていた遺伝子の分野にも研究が進んでクローン羊や牛まで現実に存在している。そして数年後には、人体の遺伝子がすべて解読される日が近いともいわれている。科学が解明されることによって、今までは難病といわれた疾患に対しても治療方法が見い出されてきている。

しかし現代の私たちの生活は本当に良くなっているのだろうか。たとえば食生活。特に若い人達に驚くようなことが見受けられる。生命維持のための食事が、きちんと取れていない。家族と同居であっても、1日1度も米飯を食べず、食事らしい食事を取っていない。おにぎりやジュースとスナック菓子が普通のメニューであったり、カバンの中には常時菓子が入っていたり。手が空けば、時間があれば電車の中でも教室でも、どこでも菓子(スナックやチョコなどが多い)を食べる。その一方では、ダイエットを気にし、健康に良いと聞くとこぞってワインだのココアだと飛びつく。昔から『健

康な身体は、健康な食生活から』という言葉があるが、じっくりと学生たちの様子を見てみると『なるほど』と納得がいく。そして学生達の日常の精神状態や学習状況と食生活とは、とても深い関係があると思われることに遭遇する。

精神的に安定している学生は、食生活も栄養のバランスを考え時間も定期的に取れている。そして、成績も安定している。その上歯列(歯並び)もよく、もちろん齲蝕(虫歯)も少ないようだ。

しかし精神的に弱かったり、落ち着きのない者ほど、口の中は齲蝕が見られ、歯列も悪い。そして、成績の方も悪いようだ。また決まって朝食抜きや不規則な食事であったり栄養バランスも取れていない。

どんなに科学が進歩しても、人が生きていく上で食べることは切っても切れない大切なものなのだ。寝たきりの高齢者が義歯を修理し、口から食事が取れるようになって寝たきりから自立へと変化したという例も聞く。

食べることを通して生きていくことに、私たち歯科は深く関わっていきたいと思う。

＜次は歯科技工科 里崇継先生＞

えっ！フィルムがなくなるの？

放射線科 石橋 一久

～アナログからデジタルの時代へ～

時代の変革

大きな袋に入ったレントゲンフィルム。今やそれが技術革新により、デジタル画像にとって変わろうとしています。骨密度装置やCT、MRIはいうに及ばず、これから導入される装置が、殆どがコンピュータを使ったデジタル画像になることは確実です。

デジタル画像って？

デジタル画像は

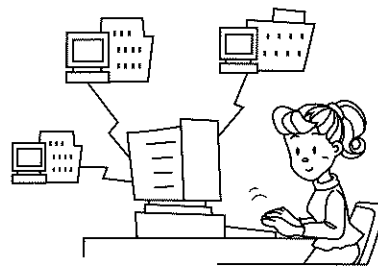
- ①ファイリング可能
 - ②画像転送ができる
 - ③画像加工ができる
- などの特徴があります。

また、デジタル画像になれば記憶媒体(CD、DVD、ハードディスク等)に画像が保管され、そこから画像を引き出すため、紛失はありません。さらに、画質も均一化されるため、画像を調整することで病変の抽出を最適化できます。この様にデジタル画像化への期待は大きく、当病院でもその流れを構築して行きたいと考えています。

インターネットも？

現在、島岡先生の尽力でイントラネット(院内LAN)が構築され、簡単にインター

ネットに接続できるようになりました。これを利用して当院でも救急患者のCT画像を転送して救急医療に役立てています。また、当病院のホームページも開設されて世界中に流れています。



行岡病院 <http://www.yukioka.or.jp/>
行岡学園 <http://www.yukioka.ac.jp/>